

報道関係者各位

令和8年2月12日
山梨県新価値・地域創造推進局統計調査課
課長 平賀 貴久子
電話 055-223-1344 (内線 1500)

「令和2年山梨県産業連関表」の公表

山梨県では、「令和2年山梨県産業連関表」を公表します。

産業連関表は、県内で行われた財貨・サービスの産業相互間等の取引の状況を一覧表にまとめたもので、令和2年当時の本県における産業構造及び産業相互間の依存関係等を総合的に把握することができます。

さらに、本表から導き出される各種係数を用いて、地域経済計画の策定や波及効果の予測・測定等にも利用されています。

報告書、計数表等を県統計調査課ホームページ「やまなしの統計」に掲載しましたのでご活用ください。

なお、山梨県産業連関表を用いた経済波及効果の測定ファイルについては、来年度ホームページに掲載予定です。

「やまなしの統計」 > 「最近公表した調査結果」 > 「経済」 > 「令和2年山梨県産業連関表」

https://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/HP/R2renkan.html

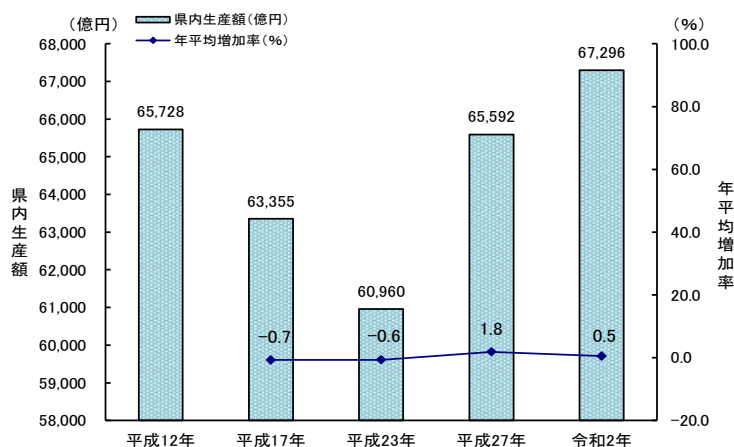
1 県内生産額

令和2年の県内生産額は6兆7,296億円で、平成27年に比べて2.6%増加した。

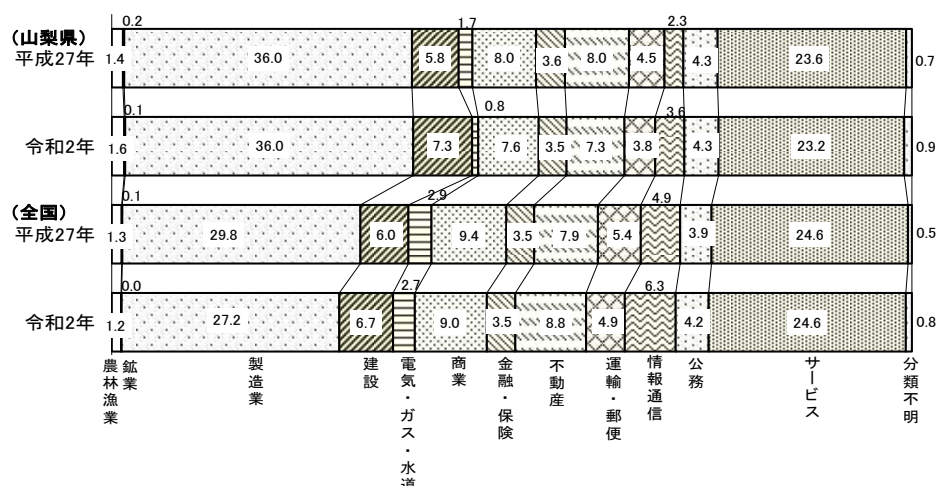
また、本県の生産額が全国(1,026兆1,540億円)に占める割合は0.66%だった。

	平成27年	令和2年	増加率(%)	年平均増加率(%)
県内生産額(億円)	65,592	67,296	2.6	0.5
国内生産額(億円)	10,178,184	10,261,540	0.8	0.2
全国に占める割合(%)	0.64	0.66	-	-

県内生産額の推移



県内生産額の産業別構成



産業別構成比をみると、製造業が36.0%と大きく、次いでサービス23.2%となっている。

本県は、国と比べて製造業の割合が高くなっている。

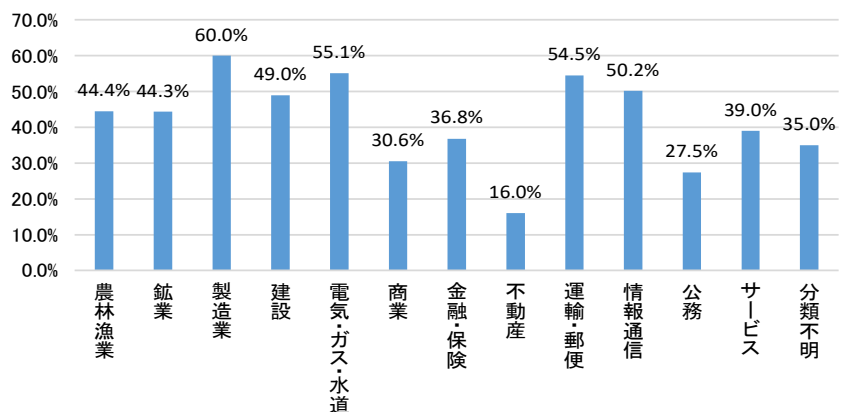
2 中間投入 と 粗付加価値

令和2年の県内生産額7,296億円のうち、3兆674億円(45.6%)は中間投入で、残りの3兆6,623億円(54.4%)は粗付加価値であった。

※ 中間投入:生産のために必要となった原材料、燃料等の経費

※ 粗付加価値:生産活動によって新たに生み出された価値(営業余剰、雇用者所得等)

産業別中間投入率



中間投入率(中間投入額÷県内生産額)を産業別にみると、製造業が60.0%と高く、次いで電気・ガス・水道の55.1%となっている。

3 総需要

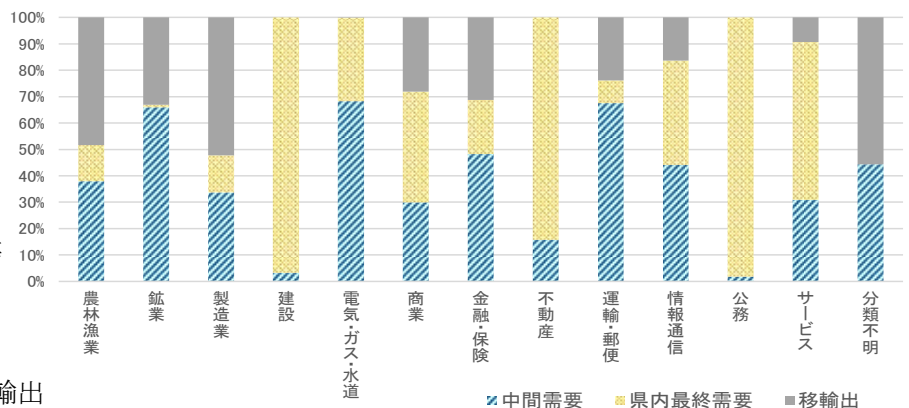
令和2年の総需要は9兆5,431億円で、そのうち中間需要は3兆674億円(32.1%)、県内最終需要は3兆5,208億円(36.9%)、移輸出は2兆9,550億円(31.0%)であった。

※ 中間需要:他の産業において原材料等として消費された額

※ 県内最終需要:県内における家計や政府での消費、有形固定資産の購入等

※ 総需要 :中間需要+県内最終需要+輸出
=県内生産額+外国や県外から購入した生産額

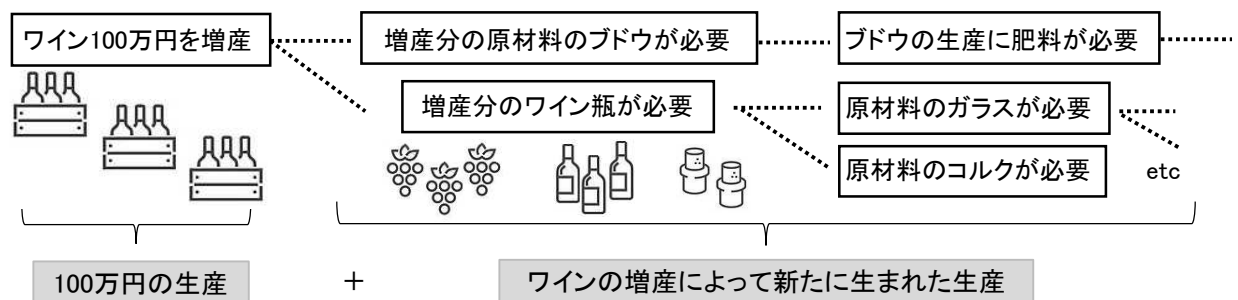
産業別総需要構成比



4 生産波及

13部門の逆行列係数表から1単位当たりの需要に対する生産波及の大きさをみると、令和2年は全産業平均で1.2957倍となった。

例えば、ワインの需要が100万円増加した場合...



全産業全体で

100万円 × 1.2957(逆行列係数) = 約130万円の生産 が行われる と計算される。